

万博会場周辺の交通課題と対応案

令和 7 年 1 月 24 日

博覧会協会・大阪市建設局・大阪港湾局

夢洲会場周辺の 交通課題と対策（全体像）

コンテナ車両及び工事車両の道路上待機
による道路通行への影響の可能性

入場待機場所の確保、スムーズな
入場による道路上待機車両の解消

【工事車両】

- ① 車両出入口増設
(3 ⇒ 7 箇所)
- ② 工事車両
待機場所等の確保
(観光外周道路の活用)
- ③ 建設作業員車両用
駐車場等の確保
(1000台)
- ④ バックヤードの確保
(2.45ha)

【物流車両】

- ⑤ 待機場所の追加整備
(440台 ⇒ 670台分)
※工程前倒し(12月⇒11月)
- ⑥ ゲート時間延長
(早朝・昼休み時間帯)
- ⑦ ゲート増設
(17⇒22ゲート)
- ⑧ CONPAS
(R6.3.29より運用開始)

⑨ 夢洲北高架橋前倒し完成、工事用として活用
(R6.12末⇒R6.7末)

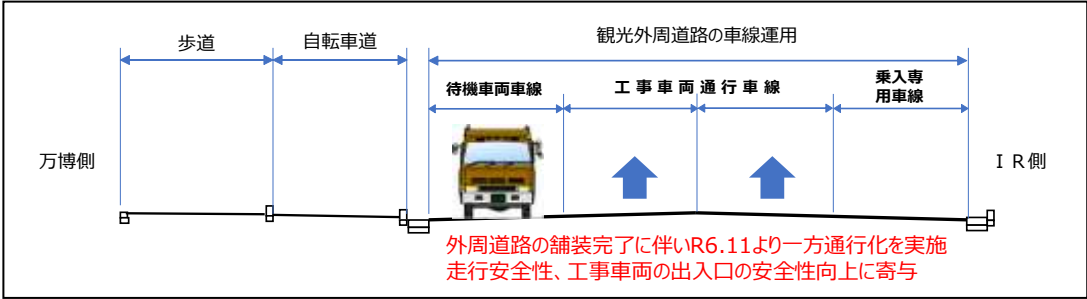
⑩ 夢洲南高架橋前倒し完成、工事用として活用
※工程前倒し(12月末⇒11月末)



■ 会場周辺の交通課題の対応スケジュール

		令和 6 年												令和 7 年				
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
工事車両対策	①車両出入口	3か所	4か所				7か所		8か所		7か所⇒4か所 ※万博会場整備の進捗に応じ、出入口は随時閉鎖							
	②観光外周道路での待機場所					観光外周道路の活用（約1,500m） ※概ね150台分					観光外周道路の活用（約2,000m） ※概ね200台分							
	③建設作業員の駐車場等	0台	300台			500台		1000台										
	④バックヤードの確保	0.05ha（駅前広場）					2.05ha（IR用地2.0ha追加）			2.25ha（駅前広場0.2ha追加）				2.45ha（駅前広場0.2ha追加）				
物流対策	⑤待機場の整備	520台		540台										670台				
	⑥ゲート時間延長													実施 （物流車両や工事車両の多い時期を対象）				
	⑦ゲート増設	増設工事			システム導入・設備類整備												運用	
	⑧COMPAS	準備			本格運用													
⑨夢洲北高架橋の前倒し		高架橋整備							8月1日より工事車両専用の通行として活用									
⑩夢洲南高架橋の前倒し		高架橋整備												12月より工事車両専用の通行として活用 （12月⇒11月完成に前倒し）				

（観光外周道路での待機場所の確保イメージ図）



※万博関係者の通勤車両の削減等に寄与するよう、Osaka Metro 中央線の夢洲駅までの鉄道運行を令和7年1月19日に開業



■ 完成状況写真



工事期間中の交通円滑化対策について

- 対策内容：円滑な工事車両の通行確保の対策として、高架橋を早期完成させ、工事車両の通行に活用。
- 実施時期：夢洲北高架橋については、令和6年12月末に完成させる予定であったが、工事車両の増加が見込まれることから7月末に完成を前倒しさせ、8月1日より工事車両専用通路として利用開始。
夢洲南高架橋については、12月2日より工事車両専用通路として利用開始。



夢洲北高架橋【令和6年8月1日より利用開始】



夢洲南高架橋【令和6年12月2日より利用開始】



※各高架橋を利用することにより、夢洲内の信号交差点を通過することなく万博工事車両の出入口がある観光外周道路へアクセスすることが可能となり、約5～10分の通行時間を短縮